

2025 年度

ニチキッズ松本村井保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026 年 1 月 13 日（火）～2 月 13 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月25日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	理念への理解が進み、職員の意識を一致させながら理念の実践に重きを置いた一年であった。そのなかで、こどもたちの育ちを感じたときは、かけがえのない喜びを感じることができ『おもいっきり遊ぶ』ことの持つ意味を実感できた。
子どもの発達援助	こどもたち一人ひとりの個性に向き合い、そのままを受け止め、スタッフ全員で共有しながら、こどもたちの一人ひとりの心情に寄り添いながら、必要と思われるかわり方や支援について話し合いながら発達援助ができた。
保護者に対する支援	こどもたちの日々の園生活の様子を伝えながら、こどもの家庭や保育園での姿を共有して成長の喜びを共感してきた。また信頼関係の中で保護者の悩みにも寄り添いながら、適切な支援ができたのではないと思う。
保育を支える組織的基盤	クラスごとの MTG を重ねて、スタッフ全員が園児一人ひとりについての様子を把握できるように、その都度共有して保育の質の向上に努めてきた。 職員会議、クラス MTG、ケースカンファレンスなど、『話し合い』を軸として保育を進めてきた 1 年であり、こどもや保育への理解を深めることができた。

総評
ニチキッズの保育理念を基に園児一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、職員同士で話し合いながら、丁寧に保育することを心がけてきた。おもいっきり遊ぶことのできる環境づくりの工夫を重ねながら、おもいっきり遊ぶことが心身の成長と学びに結びつくだと改めて気づくことができた。保護者とのかわり方においても、保育園でのこどもたちの姿を伝えながら共に成長を見届けることで、互いに信頼を深めることができた。家庭と保育園が連携することで、こどもの気持ちに寄り添いながら、今、何が必要なのかを考えることを実践できた 1 年であった。来年度へ向けて、さらに理念への理解を深め、職員同士で話し合いながら、保育の質の向上を目指したい。